

堂谷津の里 自然だより

2017年 3月

2017. 3. 4

冬ごもりしていた虫たちが春の気配を感じて地中からはい出してくるころです。早く生まれたアカガエルの卵はそろそろオタマジャクシに、メダカ、ドジョウの赤ちゃん、ヒキガエル、シュレーゲルアオガエルも鳴いて、田んぼはにぎわいを見せています。暖かい日と寒い日が交互にやってきますが確実に春は近づいています。



「ケーン ケーン」
谷津にひびくキジの声



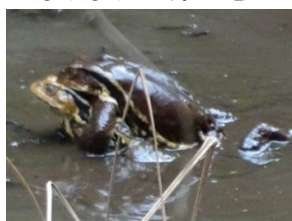
モズ



ほかほか カナヘビ



アカガエルのオタマジャクシ



ヒキガエルのカエル合戦



これ～なあに??
下欄を見てください



ノミノフスマ



カラスノエンドウ



タンポポ



ヘビイチゴ



アオイスミレ



タチツボスミレ



ニオイタチツボスミレ



シュンラン



フデリンドウ



フキノトウ

＜季節メモ＞
ウグイスのさえずりを聞くなら谷津に限ります。3月も半ばを過ぎるとあちこちでさえずりが聞こえてきます。鳴き始めのたどたどしい鳴き方は日に日に上達、やがて美声で「ホーホケキョ」と鳴くようになります。他に「ケキョ ケキョ」と鳴く「谷渡り」という鳴き方があります。人の接近など警戒しているときによく聞かれます。
写真・編集：晝間

*ウスタビガの蛹が作った繭、蛹が成虫になったあとの空っぽの繭にウスタビガのメスが産みつけた卵です。